

FTX818M00

NETIMPRESS
AFX シリーズ定義体用
マイコンパック

対象マイコン:TB9M003FG

マイコンパック取扱説明書

株式会社D T S インサイト

改定履歴

版数	更新日付	内容	適用箇所
Rev.01	2023/05/25	新規発行	—

ご利用上の注意

- ① 本製品は弊社 NETIMPRESS 専用のマイコンパックです。弊社 NETIMPRESS 以外ではご使用にならないでください。
- ② 対象マイコンとマイコンパックとの対応を誤って使用すると、ターゲットシステムを破壊する恐れがあります。本製品のマイコンパックで対象となるマイコンをご確認してからご使用ください。
- ③ NETIMPRESS は、ターゲットシステムとのインターフェース IC (NETIMPRESS 内部 IC) 電源用に数 mA の電流を TVccd 端子より消費いたします。
- ④ デバイスファンクション又は、ファンクション実行中には、SD カードの脱着は行わないでください。実行中に脱着してしまいますと、SD カードを破壊する恐れがあります。

おことわり

- 1) 本書の内容の全部または一部を、無断転載することは禁止されています。
- 2) 本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容について、ご不審な点やお気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 4) 本製品を運用した結果の内容の影響につきましては、3) に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© DTS INSIGHT CORPORATION. All Rights Reserved.

Printed in Japan

目次

1. 概要	4
2. 仕様	5
2-1. 対象マイコンと仕様	5
3. プロテクトとセキュリティ	6
3-1. プロテクト機能	6
3-2. セキュリティ機能	6
4. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ	7
4-1. 信号一覧表	7
4-2. 代表的な接続例	8
4-3. 制御信号波形	10
5. マイコンパックのロード方法	12
5-1. ファイル構成	12
5-2. リモートコントローラ(SWX600)の接続	13
5-3. マイコンパックのロード方法	13

1. 概要

FTX818M00 は、AFXxxx の NETIMPRESS 用の定義体 FTX818 用のマイコンパックとなっており、**東芝デバイス&ストレージ社製:TB9M003FG** の内蔵フラッシュメモリを対象機種とします。本製品をご利用になるには **PHX400** が必要になります。(PLX430 のライセンスが必要となります。)
また、その他のマイコンへの対応については、弊社または代理店へお問い合わせください。
本マイコンパックをご使用できる定義体は、下記のとおりになっております。

[対応定義体]

FTX818

< ご注意 >

本マイコンパックは、所定の定義体との組み合わせで使用することができます。
所定の定義体以外との組み合わせでは、使用しないで下さい。
マイコンパック取扱説明書には、マイコンパック固有の取り扱い上の注意事項が記されていますので、ご利用にあたっては、必ず取扱説明書をお読みください。
本マイコンパックを利用するにあたり、SWX600 を用います。
マイコンパックのロード方法につきましては、第 5 章をご参照ください。
なお、ご不明な点がございましたら、弊社または代理店へお問い合わせください。

< 確認事項 >

ご使用になられるマイコンとメモリサイズ、電源仕様などが正しいことを、ご確認ください。
パラメータの値が正しくない場合は、マイコンを破壊する恐れがございますので、十分に注意してください。

ご不明な点は、弊社または代理店へお問い合わせください。

2. 仕様

2-1. 対象マイコンと仕様

特に記載なき項目は、NETIMPRESS 標準に準じます。

[表 2-1 対象デバイスと仕様]

型名	FTX818M00
マイコン	TB9M003FG
コードフラッシュ メモリ容量	64Kbyte
コードフラッシュ メモリアドレス	#00000000 ~ #0000FFFF
ターゲットインターフェース	SWD インターフェース 1.25M/2.5M/3.3M/5M bps
デフォルト	5Mbps
書き込み時のターゲット マイコン動作周波数	40.0MHz (内蔵発振器)
書き込み時のターゲット インターフェース電圧	5.0V(VCC)

3. プロテクトとセキュリティ

3-1. プロテクト機能

TB9M003FG の内蔵フラッシュメモリには、消去・書き込みを禁止するプロテクト機能があります。プロテクトを使用するための設定方法や、プロテクトに関する詳細については FTX818 の定義体マニュアルをご参照ください。

プロテクトを設定するブロックのアドレスと指定ビットとの対応は次のようになります。

[表 3-1 プロテクトビット設定対応表]

ブロック番号	アドレス	指定ビット
Block0	#00000000 ~ #00001FFF	bit0
Block1	#00002000 ~ #00003FFF	bit1
Block2	#00004000 ~ #00005FFF	bit2
Block3	#00006000 ~ #00007FFF	bit3
Block4	#00008000 ~ #00009FFF	bit4
Block5	#0000A000 ~ #0000BFFF	bit5
Block6	#0000C000 ~ #0000DFFF	bit6
Block7	#0000E000 ~ #0000FFFF	bit7

3-2. セキュリティ機能

本定義体の対象となるマイコンでは、フラッシュメモリ読み出しおよびデバッグ機能を制限するセキュリティ機能を備えております。

セキュリティに関する詳細については FTX818 の定義体マニュアルをご参照ください。

4. ターゲットシステムとの接続と専用コネクタ

4-1. 信号一覧表

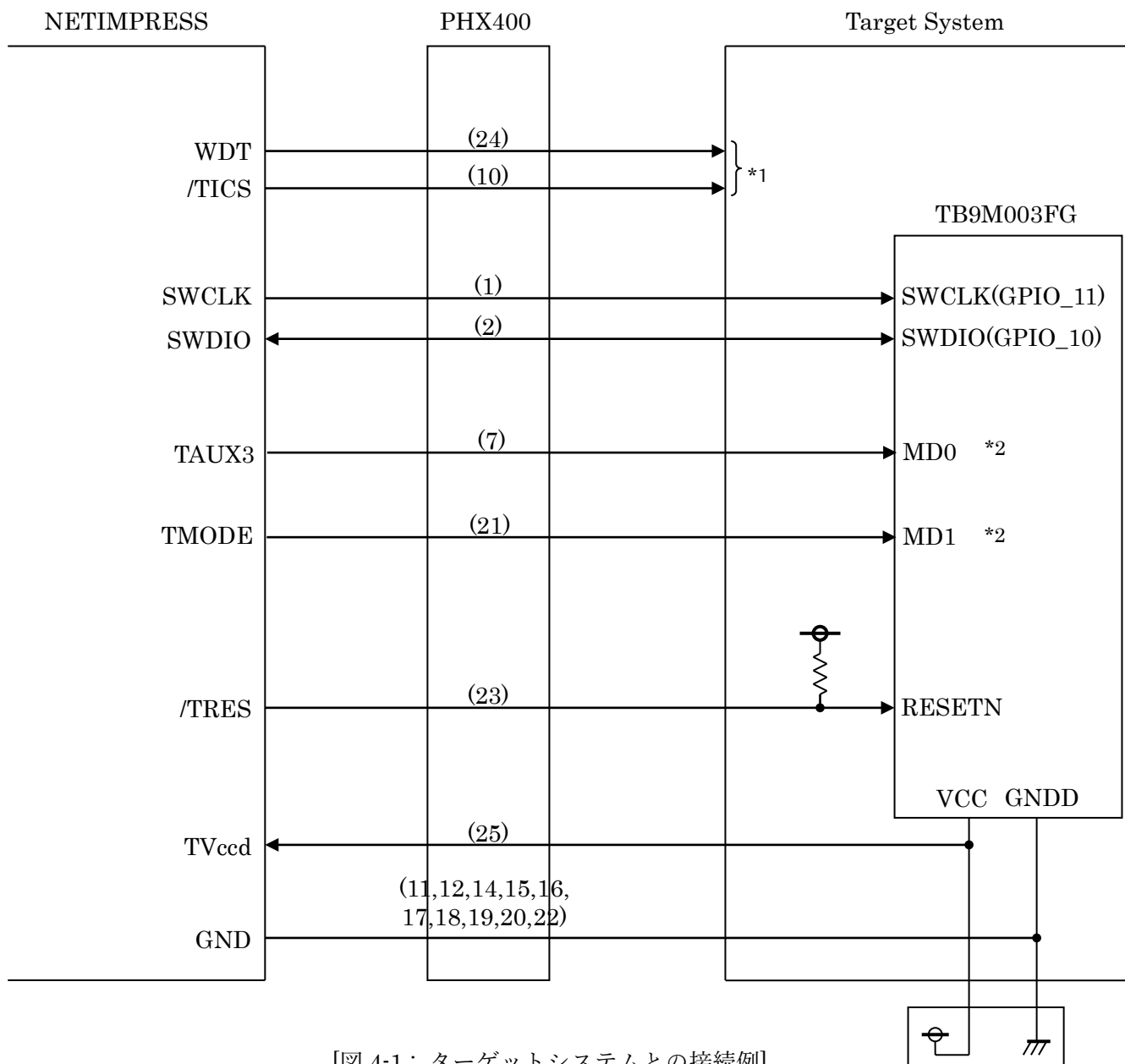
本マイコンパックをご利用頂いた場合のターゲットプローブコネクタ端の信号表を示します。

[表 4-1: ターゲットプローブ信号表(FTX818M00)]

マイコン信号名	NET IMPRESS の標準信号名				マイコン信号名
SWCLK (GPIO_11)	SWCLK	①	①④	GND	GNDD
SWDIO (GPIO_10)	SWDIO	②	①⑤	GND	GNDD
	IO3	3	①⑥	GND	GNDD
	IO4	4	①⑦	GND	GNDD
	IO5	5	①⑧	GND	GNDD
	TAUX2	6	①⑨	GND	GNDD
MD0	TAUX3	(7)	②⑩	GND	GNDD
	TAUX4	8	(21)	TMODE	MD1
	VCC	9	②②	GND	GNDD
マルチプレクサ用信号	/TICS	(10)	②③	/TRES	RESETN
GNDD	GND	①①	(24)	WDT	ウォッチドッグパルス 信号
GNDD	GND	①②	②⑤	TVccd	VCC
	PROBE SELECT	13			

- ① は、必ず接続頂く信号線です。
- () は、必要な時のみ接続してください。
- も () も印のない信号線はターゲットシステムの回路には接続しないでください。
詳細については、弊社サポートセンタにお問い合わせください。
- 各信号線のインターフェース回路については、プログラマ本体の『ハードウェアマニュアル』をご覧下さい。

4-2. 代表的な接続例



[図 4-1: ターゲットシステムとの接続例]

*1:オプション機能です。

*2:ターゲットシステム上で所定の論理に設定される場合は接続の必要はございません。

・モード設定方法

信号名	値
MD0	VCC
MD1	GNDD

ライターとの接続する場合は使用する動作モードでプルアップ or プルダウン抵抗を入れてください。

- ① “書き込みモード信号”など一部の書き込みに使用する信号がユーザーシステムとの共用端子に定義されている場合には、それらの信号のマルチプレクス回路をユーザーシステムに実装してください。

/TICS 信号は、NETIMPRESS のデバイスファンクション実行時にだけアサートされる信号です。

この信号によって共用端子に実装される信号切り替えを行います。

マルチプレクス回路をユーザーターゲットシステムにいていただくことにより、/TICS がネゲートされている時(デバイスファンクションを実行していない時)に NETIMPRESS が接続されていない(コネクタを外した)状態と同一の条件をつくることができます。

書き込み制御に使われるこれらの信号が、フラッシュマイコンから制御用専用信号線として定義されるターゲットシステムでは、マルチプレクス回路は不要です。

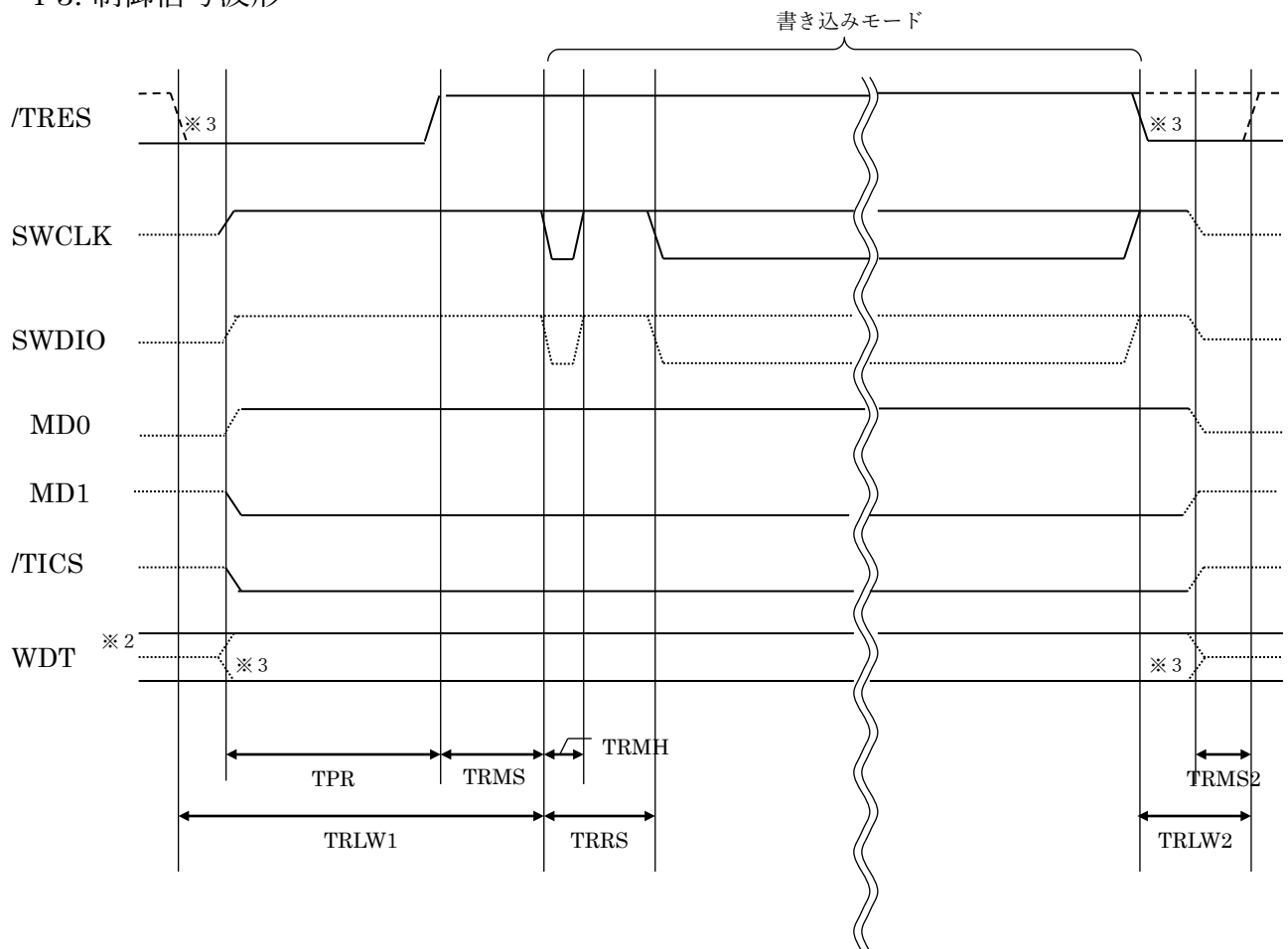
- ② WDT 信号端子には、WDT Period で設定されたクロック信号が NETIMPRESS より出力されます。(常時出力)(オープンコレクタ出力)

フラッシュメモリ書き込み中に、所定のクロック信号が必要なユーザー回路へ接続しご利用ください。

- ③ NETIMPRESS では、標準プローブ中に/TRES 信号を設けてあります。

/TRES 信号は、ターゲットシステム内でワイヤードオアをとり、マイコンの/RESET 端子に接続して頂けるよう、オープンコレクタ出力の信号としています。

4-3. 制御信号波形



[図 4-2 制御信号波形]

[表 4-2 信号制御タイミング]

	ライタ仕様
TPR	200ms (min)
TRLW1	350ms (min)
TRLW2	100ms (min)
TRMS	10ms (min)
TRMH	5ms (min)
TRRS	10ms (min)
TRMS2	50ms (min)

*1: "....."は、HiZを示します。

*2:WDTはオープンコレクタ出力です。

*3:オプション機能です。

- ①フラッシュプログラムの電源投入後、ターゲットシステムの電源を入れてください。
プログラムは電源投入直後から/TRES をアサートし、WDT 信号の出力を開始します。
- ②デバイスファクションの実行によって/TICS がアサートされ、フラッシュプログラム用の通信チャンネルがターゲットシステム上でフラッシュプログラム側に接続されます。
(フラッシュプログラム用の通信チャンネル及び、関連信号が他のユーザー回路から独立して常時フラッシュプログラムに専有されるシステムでは、本信号による信号切替えは必要ありません)
- ③マイコンのプログラミングモードが起動され、規定の通信回路を使って NETIMPRESS との通信を始めます。通信は、あらかじめ設定されている通信条件で行います。
- ④プログラミング終了後、/TICS をネゲートします。
デバイスファクション非実行中は/TRES は常にアサートし、WDT 信号は常時出力します。

5. マイコンパックのロード方法

5-1. ファイル構成

本マイコンパックをご利用いただくにあたって、事前に以下のファイルをご用意ください。ファイル名「Vxxxx~」の xxxx がバージョンを示します。各ファイルは予告無くバージョンが上がる場合があります。

[表 5-1 弊社提供ファイル]

ファイル名	内容
VxxxxFTX818.CM	定義体ファイルです。 *本マイコンパックには付属しません。
VxxxxM00FTX818.PRM	デバイス情報が内蔵されているパラメータファイルです。

[表 5-2 お客様にご用意いただくファイル]

ファイル名	内容
Object.xxx	書き込み用のオブジェクトファイルです。
xxx.YDD	パスワードキーデータ設定ファイルです。
xxx.KEY	セキュリティ照合用のデータファイルです。
Object.YSM	バッファメモリ不正変化検出用のファイルです。 詳細は NETIMPRESS avant Flash Programmer スタートアップマニュアルをご参照ください。

5-2. リモートコントローラ(SWX600)の接続

接続方法については NETIMPRESS avant Flash Programmer スタートアップマニュアルの「3.2.2.PC との接続(SWX600:リモートコントローラ設定)」を参照ください。

5-3. マイコンパックのロード方法

ロード方法については NETIMPRESS avant Flash Programmer スタートアップマニュアルの「4.4.2.パラメータファイルのロード」を参照ください。